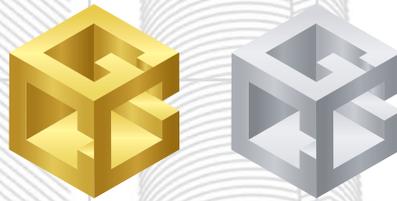




社員を育てる企業表彰

Good Career Company
Award 2019

グッドキャリア企業 アワード 2019



好事例集

社員の自律的なキャリア形成を
支援する企業の先進事例



グッドキャリア企業アワード 2019

Good Career Company Award 2019

「グッドキャリア企業アワード」
大賞
[厚生労働大臣表彰]

従業員の自律的なキャリア形成支援について特に他の模範となる取組を総合的かつ継続的に推進し、その成果が顕著である企業等(5社程度)を表彰します。



Grand prize

「グッドキャリア企業アワード」の趣旨・背景について

産業構造の変化、グローバル化等が進展する中で、我が国の経済が競争力を高め、引き続き成長を遂げていくためには、変化する経済社会に自律的に対応できる人材を育成していくことが必要です。また、労働力人口の減少、少子高齢化が進む中で、誰もが意欲と能力に応じて働くことのできる社会を実現していくためには、働く一人一人の能力を高め、生産性を高めていくことが不可欠です。

そのためには、キャリア実現の場である各企業において、事業主自身が経営上の課題に即して、従業員の自律的なキャリア形成・能力開発を促進する仕組みを設け、多様なキャリアパスを設定の上、実行性ある支援を計画的に実施することが重要です。

厚生労働省は、こうした観点から、従業員の自律的なキャリア形成支援について他の模範となる取組を行っている企業等を表彰し、その理念や取組内容、具体の効果等を広く発信、普及することにより、キャリア形成支援の重要性を社会に広め、定着を期すことを目的に、グッドキャリア企業アワードを実施しています。

「グッドキャリア」とは

「グッドキャリア企業アワード」における「グッドキャリア」とは、

- ・各企業における経営上の課題等に対応し、また、変化する経済社会の方向性を踏まえて、
- ・従業員が自らのキャリアビジョンを明らかにし、その実現を図るため、
- ・自律的・継続的に自らのキャリア形成に取り組んでいる状態をいいます。

具体的な「グッドキャリア」の在り方については、各企業の経営理念などに応じ、企業ごとに多様に設定されうものですが、企業が、「当社におけるグッドキャリアとは」という理念や具体的方針を明確化し、かつ、従業員がそれを理解の上でグッドキャリアを実現するために自律的にキャリア形成の取組を行い、企業もこれを支援する、といった好循環が生まれることが重要です。

この実現に向けて、従業員が自らのキャリアビジョンについて考える機会の設定や、人事・教育訓練制度の充実などの取組を積極的に推進している企業を「グッドキャリア企業」と呼んでいます。

「グッドキャリア企業アワード」は、グッドキャリア企業と認められる企業の中でも、特に他の模範となる先駆的取組を行っている企業を表彰するものです。

グッドキャリア企業アワード 2019

Good Career Company Award 2019



Innovation prize

「グッドキャリア企業アワード」 イノベーション賞 [厚生労働省人材開発統括官表彰]

自社における重要課題に取り組むため、労働者の自律的なキャリア形成支援について、対象者、取組手法等を重点化してキャリア形成支援を展開し、人材育成、ひいては企業経営上の具体的な成果に結びつけるなど、特に他の模範となる取組を推進し、その成果が認められる企業等（最大10社程度）を表彰します。

「グッドキャリア企業アワード」評価の視点

エントリーシートに各企業のキャリア支援の取組について記載いただき、下記の評価項目により、評価を行いました。

評価項目

評価のポイント

1 キャリア支援の 特徴、理念

- 自社におけるキャリア形成支援の特徴、強みや良さを理解しているか
- 人事管理(人材マネジメント)上の課題や人材育成ビジョン、経営における目指す姿と有機的な関連があるか

2 キャリア支援の取組

- ①キャリア形成について考える機会
- ②職業能力開発・自己啓発の機会
- ③職業能力評価の仕組み
- ④上記以外の観点も含めた取組全般

- 他の企業のモデルとなる優れた取組を行っているか
- 職場に効果的に定着しているか、積極的に活用されているか

3 キャリア支援による 効果等

- 具体的な効果がみられているか
- 経営上または人事管理(人材マネジメント)上の課題の解決につながっているか
- 従業員からの評価を聞く機会があり、その結果を受けて修正する仕組みがあるか
- 離職率や残業時間の数値が著しく高くないか

4 総括

- 総合的にみて、当該企業の理念や取組内容を広く周知することにより企業等の取組が促進されると考えられるか

審査委員

■審査委員長



法政大学経営大学院
イノベーション・マネジメント研究科
教授

藤村 博之

今年度の応募企業の特徴は、活動領域の幅広さにありました。医療・福祉分野や農業分野の企業からの応募があり、それぞれに特徴ある取組を展開している点が印象に残りました。キャリア開発は、個人の努力に任せておけばいいというものではありません。企業として、組織的な支援体制を作り、従業員と一緒に考えていく姿勢が大切です。今回の受賞企業の経験が多くの企業に参考になることを期待しています。

■審査委員



日本電信電話株式会社
常勤監査役
井手 明子

企業と社員との関係が変化しつつあるなかで、グッドキャリアとは何か、「自律的」「多様性」「継続性」に着目して審査にあたりました。社員が自らの職業人生を築くにあたって必要な道筋をつける支援の仕組みが、きめ細かく、工夫に富んだものが多く見受けられました。農業や福祉、保育、介護といった事業での先進的な取組は、我が国が抱える社会的課題を解決するための人材育成につながり、将来に向けて心強く感じたところです。



武蔵大学 客員教授
北浦 正行

今回の応募企業は、業種や地域が一段と多彩なものとなり、キャリアの問題が産業、企業規模、地域に関わらず広く浸透してきたと思われまます。選考は、大企業では取組の実績を問うと共に、中小企業においても、人事管理としてどこまで定着しているかを重視しました。とりわけ、教育研修制度や人事制度の一環として整備するに留まらず、企業の経営方針にも、しっかり結びついたものが目立ってきたと思います。



法政大学
キャリアデザイン学部 教授
坂爪 洋美

受賞された各企業は、個人の成長が企業の成長につながることを意識して人材育成に取り組まれていることが印象的でした。特に、「従業員の主体性を尊重しつつ会社のニーズも実現する」といった、従業員のキャリア自律実現上の大きな課題を乗り越える取組や、従業員の主体的な学習をより促進する取組が多く見受けられたことが、今年度の特徴だと思います。企業におけるキャリア形成のあり方がまた一歩変わりつつあることを実感しました。



THK 株式会社 社外取締役
株式会社小松製作所 顧問
株式会社すき家 社外取締役
株式会社瑞光 社外取締役
立命館大学大学院経営管理研究科 客員教授

日置 政克

今回初めて審査に参加する機会をいただきましたが、各社の社員の自立に向けて、それをサポートする取組を見て、改めて感心しました。特に、中小の企業の例は知るチャンスがなかったので、新鮮でした。人材を”育成する”と言いますが、本来は、ここでいうように、社員の自立があって、そのキャリア形成を”支援する”ことであるべきだと思います。こうした良い事例の学びが、規模を問わず多くの企業に広がることを期待しています。



厚生労働大臣官房審議官
井内 雅明

受賞企業では従業員の自律的なキャリア形成のための様々な工夫された取組がなされており、本年度は業種や地域にも広がりが見られ、「キャリア形成」の理念が全国的に着実に浸透してきていると感じました。人口減少や社会構造の変化が進む中で、多様な人々が活躍し、また、その能力を伸長できる環境作りはより一層重要性を増しており、今後も、キャリア支援の取組の深化や広がりを期待しています。

Good Career Company Award 2019

CONTENTS



「グッドキャリア企業アワード2019」

大賞

[厚生労働大臣表彰]

伊藤忠テクノソリューションズ株式会社 ……………05
東京都千代田区／情報サービス業
SCSK株式会社 ……………09
東京都江東区／情報サービス業
日鉄工材株式会社 ……………13
新潟県上越市／製缶板金業
日本生命保険相互会社 ……………17
大阪府大阪市／生命保険業
株式会社ミツイ ……………21
宮城県仙台市／老人福祉・介護事業



「グッドキャリア企業アワード2019」

イノベーション賞

[厚生労働省人材開発統括官表彰]

コニカミノルタウイズユー株式会社 ……………25
東京都八王子市／管理、補助的経済活動を行う事業所
日本電産株式会社 ……………27
京都府京都市／電子部品製造業
服部農園有限会社 ……………29
愛知県丹羽郡／農業
三井住友海上火災保険株式会社 ……………31
東京都千代田区／損害保険業
三菱ケミカル株式会社 ……………33
東京都千代田区／有機化学工業製品製造業

※「社員の声」に掲載の従業員氏名については、各社の要望に応じた表記とさせて頂いております。